

'84

1月号

No.170号

迎春

《鹿部町町民憲章》

1. 話し合いのある明るい家庭をつくりましょう。
1. 元気にはたらき楽しい職場にしましょう。
1. きまりをまもり互いの立場を尊重しましょう。
1. スポーツに親しみたくましい心とからだをきたえましょう。
1. 自然を愛し郷土の文化を育てましょう。

輝かしい新春を迎えて

鹿部町長  
川村秀次



町民のみなさん、明けましておめでとございます。  
輝かしい昭和五十九年の新春をみなさん共々健康でお迎えできましたことは、このうえない喜びと存じます。

平素は、町政推進に對しまして深いご理解とご支援を戴き、この機会に改めて感謝申し上げます。

昨年、町民のみなさんの永年の念願でありました町制を施行し、当町の歴史に輝く一ページを飾ることができ、誠に記念すべき年でありました。従いまして本年は、「新生「鹿部町」が迎える第一回目の新年であり、町の歴史に向けて新たなステップをふみ出す極めて意義のある、且つ重要な年であります。

私は、かねて来申し上げておりますように、町制を施行するにあたって、先人の偉業とご苦労に報いるためにも、又、父母から子供へと歴史が語りつがれることによ

って住民の愛郷の念又一段と強くなり、住民が一体となって鹿部町が更に発展することを確認して町制を決定したのであります。鹿部町が迎える初めての新年にあたり、町民のみなさんがますます協力し合って新しい町づくりのため新たな意欲を喚起すると共に、新たな活力を生み出すことを大きく期待するものです。

近年、私たちをとりまく諸情勢は一層厳しさを増し、ますます深刻化する国際問題をはじめ、エネルギー問題、臨調行革に伴う財政再建問題、更には、底びえの続く景気問題等幾重にも困難な問題が山積し、まさに不透明、不確実の時代であります。

また、地方財政は、国家予算の影響を受け、町財政環境も又一段と厳しくなることが予想されますが、世界的な不況を乗り越え、豊かな地域社会をつくり上げていくためには行政の後退は許されるものではありません。

私は「清潔で明るい住民本位の行政」を基本理念として、漁業の振興、教育の充実、福祉の向上、及び生活環境の整備を重点施策として活力あふれた豊かな鹿部町、また思いやりと連帯感に満ちた地域社会の実現のため当面する課題の解決に全力を挙げ、本町の未来を切り開く町政の推進に務めて参る決意を一層新たにすることをあ

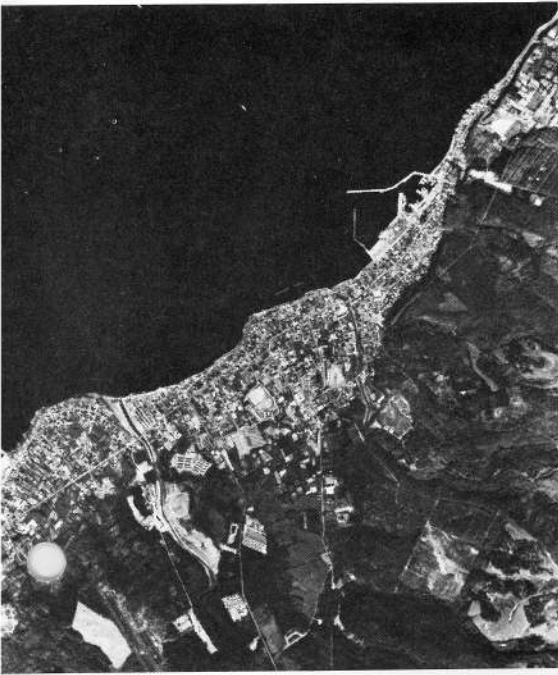
ります。  
昭和五十八年は、当町においては大きな災害もなく平穩裡のうちに暮れましたことは、誠に喜ばしい限りであります。  
ここで改めて昭和五十九年を展望するとき、先に申し上げましたとおり昨年に引き続き超緊縮型のいわゆるマイナスシーリングの国家予算、行政改革の断行、年々厳しさを増す国際問題等内外の情勢は非常に難かしいことが予想されます。

しかし、効率的な行財政の運営と経費の節減により新時代に即応した地域づくりを邁進して参りたいと思つ次第であります。  
新年度においては、懸案でありました小学校の大改築を計画し、すでにこれに向けた準備調査を実施しているところであり、また住民の幸せに連がる諸施策については継続的に実施する所存であります。更に、昭和五十二年を初年度として十ヶ年に亘る総合計画については、早い時期に見直しを図り、新生鹿部町に即応した総合計画の策定をして参りたいと思つて

ます。  
新しい年を迎えるにあたり、所信の一端を申し上げ、みなさんの一層の御協力をお願いいたしますと共に、ご多幸とご健勝を祈念し、年頭のあいさつといたします。  
昭和五十九年 元旦

明けまして  
おめでと  
う  
ございます

鹿部町役場	町長	長川村秀次
助役	役	浜村正夫
収入	役	松崎繁四郎
総務課	長	岡崎英夫
民生課	長	佐々木成克
税務課	長	盛田栄一
企画・管財課	長	橋本健蔵
産業課	長	古城保弘
建設課	長	松本豊勝
水産課	長	松川猛
水道課	長	相沢正士
ミンク公営課	長	熊谷秋雄
外職員	同	熊谷秋雄
鹿部町教育委員会	教育委員長	山崎篤也
	同職務代理者	山科久幸
委員	員	坂井幸雄
	員	長谷川勝雄
教育	長	桜田政治
学校教育課	長	小田博久
社会教育課	長	土谷文男
給食センター	長	川村正美
外職員	同	川村正美
鹿部消防署	署長	小玉健
外職員	同	小玉健







年頭にあたって

北海道知事  
横路孝弘



道民のみなさん、明けましておめでとーございます。

昭和五十九年の新春を道民のみなさんとともに迎えることができ、またしたことを大変うれしく思います。

私にとっては、知事として初めての新年であり、私に課せられた責務の重さをあらためてかみしめ、身の引き締まる思いです。

私は昨年、道民のみなさんのあたたかいご支援をいただき、知事に就任して以来、活気あふれる地域社会をつくりあげていくため、みなさんとともに努力してまいりました。この間、みなさんから深いご理解と絶大なご協力をいただきながら着実に道政を推進することができました。このことを心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり、今日の北海道は、景気の低迷、国鉄ローカル線の廃止、農畜産物の問題などたくさん課題をかかえ、さらに、昨年は、北炭夕張新炭鉱の閉山、農作物の冷害や集中豪雨による被害などが相次ぎました。関係地域のみなさんに心からお見舞い申し上げますとともに、力強く再起されますよう期待いたします。

北海道が二十一世紀へ向けて、大きく飛躍するためには、国際化時代にこたえて世界に開かれた北海道をつくり、また、北海道経済の自立化をめざし、強い経済体質をつくりあげることが何より重要であると考えます。

このため、先端産業などの企業誘致に取り組み、昨秋には、北海道経済界のみなさんとヨーロッパ諸国を訪問し、国際交流の促進につとめてまいりました。これからも経済の活性化のために努力を傾けてまいります。

さらに、地場産業の振興と町づくりを結びつける「村おこし・町おこし」の運動を呼びかけておりますが、幸い、「一村一品運動」が道内各地に盛り上がりを見せており、大変心強い限りです。

今、国・道・市町村を通じて財政的には極めて厳しい現状にありますが、私は、「市町村サミット」などの機会をとらえて道民のみなさんと対話を重ね、道内二百十二

市町村から生き生きとした声をくみあげ、新しい時代に向かって道民のみなさんとともに考え、知恵を出しあい、ともに行動していきたいと思っております。

本道は、多くの可能性を秘めた魅力あふれる希望の大地であります。

私たちは、いま新春を迎えあらためて、「開拓の心」を呼び起こし、新しい北海道の創造に向けてエネルギーを結集していこうではありませんか。

昭和五十九年 元旦



年頭のあいさつ

渡島支庁長 真部 裕



明けましておめでとーございます。

新たな希望に輝く昭和五十九年の新春を、つつがなく迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、長期化している景気の低迷をはじめ国鉄地方交通問題や行政改革などの難問が山積する中で日本海中部地震や四年続きの冷災害に見舞われるなど多難な年でした。

道としては、こうした厳しい社会情勢に対処し、また、長期的視点に立った道民生活安定向上のための諸施策の推進に積極的に努力して参りました。

管内においても、農業では道南の地の利を生かした良質な農畜産物の安定生産と供給のための土地基盤や施設の整備、また、水産業でも噴火湾ホタテ養殖のような資源管理型漁業の振興のための沿岸漁業の整備など、管内の基幹産業である農、水産業の振興をはじめとしてあらゆる分野において諸施策

を展開してきました。

今後は、新たな発想のもとに管内産物を附加価値の高いものに転換し、その利用を広げてゆくことが必要であり、その余地は多く残されておりますので、私は、これらに積極的に取り組むとともに、テクノポリス構想の実現や青函トンネルの有効利用も含めた交通網の整備など、さらに活力のあふれた近代的な渡島の創造に努めてまいり所存であります。

また、「一村一品運動」に呼応し管内でも南茅部町の地場産業振興センターのコンパ加工を始め数多くの創造的事例が産み出されていることは、新しい方向づけを求めている意味でも貴重であり、これらの事例のひとつひとつを大事にし、地域の活性化のために役立てていきたいと思っております。

今年も情勢は一段ときびしく、多くの困難な問題が予想されますが、決意を新たにし、これらを解決しながら豊かな地域をつくるため最善の努力をいたしたいと存じますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

輝かしい年頭にあたり本道開発の歴史と伝統に輝く渡島の限りなき発展のため一層の御精進をお願い申し上げますとともに、皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。

昭和五十九年 元旦

### 新春を迎えて

鹿部町教育委員会

委員長 山崎 篤也

昭和五十九年年初にあたり、町民皆様には健やかに新年を迎えられたことと御慶び申し上げます。

毎年新しい年を迎える度にいわれる言葉に「一年の計は、元旦にあり」という諺がありますが、この諺は、新年の日を簡明率直にいい表わして、誠に妙味ある言葉と

思います。元旦に際し、自分は昨年一年を如何に有意義に暮したが、正しい目的に向ってどれ程努力したかを反省し、更に今年は何を

行すべきかを考え、これが実現の為の第一歩を歩み出すという事が、新年の日の祝日としての意義であります。

私達教育委員は、教育という役割にありますので、学校教育については、幼・小・中と児童、生徒に合った健全な育成と共に、非行の根絶を計り、人間形成という最も大切な役割をもっている事を自覚し、取り組んでいかなければならない、と思っております。

又、社会教育においても、それぞれの社会教育組織の推進、指導と充実を計り、その成果の実現のために学校、家庭、社会が一体となった活動が望まれると希望する

ります。昨年、発足した「町民青少年健全育成会議」が定着した歩

みの下に住民意識を高める様に推進していくことを願っております。これらの事は、一朝一夕には行き

ません。これから先幾十年と歳月をかけなければならぬ事かもしれません。けれども、やらなければならぬ事なのであります。従

ってこれからの年の第一歩に我々は、力の限りを尽くし、努力していく覚悟であります。

昨年十二月に記念すべき町制が施行され、私達住民は町民として

の自覚をもつと同時に、今日迄に

して下された先人の方々の努力と御

御苦労をしっかりと心に刻み、我々

はこれを正しく継承し、更に発展

進歩させる事こそ今後の私共に課

せられた責任であると思えます。本

年は、小学校改築という大事業が

あります。一日も早く完成し、美しい校舎で環境のよい勉学

の場を児童に与えてやりたいものと願

っております。古人は「日に新たに

して、又日に新たなり」と申しました。私達

はこの意義を把握し、各自に与えられた課題の実現に勇気をもって

努めていただきたいと願うものであります。年の始めにあたり、新たな気分

### 年頭のことば

鹿部町選挙管理委員会

委員長 古城 猶吉

町民の皆様、明けましておめでとございます。

希望に輝く新春を皆様と共に迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年十二月一日、鹿部町に昇格になり、町の歴史に大きな一ページ

を残したことは勿論のこと、私達町民に多大な喜びと感動を与え

一生忘れることのできない年でありました。

又、民主的な政治運営のための選挙も、四月の統一地方選挙、選挙

法の大改正による六月の参議院議員通常選挙、そして十一月末に

衆議院議員総選挙が執行され、選挙の年でもありました。

日頃選挙に対し、町民各位、並びに関係者各位の深いご理解とご

支援ご協力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

本年も当委員会として、町民の信託にこたえられるよう努力をしたいと存じますので、従来同様、

### 年頭のご挨拶

鹿部町農業委員会

会長 小山 忠一

町制を施行されて始めての輝かしい新春を迎え、町民の皆様と共に

謹んでお慶び申し上げます。農業委員の立場として昨年を顧

りみれば、北海道は昨年で連続四年天候不順による冷害に見舞われ、

専門農家の方々には誠に御気の毒な年でございます。こうした事

について道・渡島地区では、支庁を始め農業委員会連合会で、去

る十二月二十六日まで各町村の会長及び事務局局長会議等を開催して

この冷害対策に対して農営の再建等を考え、頭を悩ましておるところ

でありましたが、これらの事を考えてみる時に、我が鹿部町は純農

業地域とは言えませんが、昭和五十七年二月調査で一七二戸も農業

戸数がありましたのに、昨年二月の調べでは、わずか一五九戸と極

めて減少し、最近では生活水準の向上と、又、食糧の輸入等の確保と安定供給により、戦後の様に各家

でも明らかであり、誠に喜ばしい限りであります。

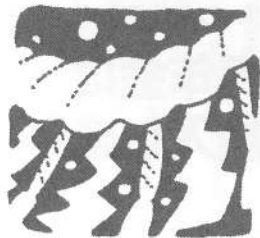
どうか皆様、鹿部町農業委員会では、役場産業課に窓口の事務局

を設けて、農政・農地・農営に関するご相談を受けておりますので、お

気軽においで下さい。町ますますの発展のため委員会では皆様の

ご要望に常にこたえる準備を整えております。町民の皆様、今後益々のご家庭

のご繁栄とご健勝を心からお祈り申し上げます。申し上げ、新年の御挨拶といた



### 無火災のマチをめざして

渡島東部消防事務組合  
鹿部消防団長 古城保雄

輝やかなしい新春を寿ぎ、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。新年早々の一月二日には恒例の消防団出初式を挙行いたしました。昨年は「無火災のマチ」の悲願が達成されましたことは、近來にないことであり、日常の町民の皆様方が、日頃から火災予防に心がけて下さった賜と深く感謝申し上げます。お送り下さいます。

この記録が本年もずっと継続されて行くことを期待してやみません。日常の生活の中には欠かすことの出来ない火もその取り扱いを誤ればとんでもない大事となります。めまぐるしく移行行く社会で、私達の周囲の中には随分と文明化された機械・器具が普及されて参りました。しかし、これらもまたらすものに火災等による大惨事が連日新聞誌上をにぎわしていることに心をいためるものです。これらはすべて人災といわなければなりません。

昭和四十九年四月より、渡島東部消防事務組合が設立されました。早くも十一年目を迎えることになりました。当組合六カ町村に設置された消防支署も昭和五十四年七月より消防署に昇格され、人員、

施設設備も年々整備されて参ったことは町理事者はじめ、町議会各位の深いご理解の賜であります。昨年度、当町を会場に行なわれました渡島地方消防総合訓練大会においても大型・小型ポンプ操法の部それぞれで優勝できた喜びはかつてない記録であり、感慨深いものがございます。この意気をもって、本年度は全道大会へ大型ポンプ車操法の部に出場することとしております。家業を離れてまでも連日の激しい訓練に耐えぬいた選手にどうぞ暖かい拍手をお送り下さい。

私共消防人として、私利私欲を捨てて郷土防災に勤めることを本分として、身を呈して消防署職員はじめ、団員一体となって事に当たることをお誓いし、昭和五十九年の年頭にあたってのごあいさつといたします。

私共消防人として、私利私欲を捨てて郷土防災に勤めることを本分として、身を呈して消防署職員はじめ、団員一体となって事に当たることをお誓いし、昭和五十九年の年頭にあたってのごあいさつといたします。

### 年頭にあたって

鹿部漁業協同組合  
組合長理事 岩島孝治

明けましておめでとう御座います。激動の八十年代に突入し、諸事多難な時代であります。無事新年を迎えることが出来ましたことは誠に御慶の至りと存じます。毎年、年頭にあたっては心を新たにし将来の目標設定と思考するものであります。特に今年には昨年町民が等しく切望して止まなかつた町制が施行され「鹿部町」が誕生したことによって、なお一層、将来に向って夢と希望をもつて進まなければならぬと思ひます。

世界的不況の進行の中で、我が国経済は多難な時代を迎え、とりわけ、漁業をめぐる環境は益々厳しさの度を加えつつあります。本地域においても、韓国漁船問題、資源衰退による漁船漁業の不振、漁家負債の増高等幾多の問題を抱え込んでいる実状であります。これを打破するためには、漁家一人一人が自らの経営内容を見直し、生活改善等を含め将来に向い希望をもてる営漁計画を樹てる必要があります。本組合においても行政、系統機関とも協議しながら、これを積極的に推進する考えであります。しかしながら、根幹をなすものは生産の増大による漁家所得の向上にあると思ひます。

昨年度においても、本組合の基本方針の一つとして、生産増大のため浅海増殖事業の推進を掲げ、サケふ化事業をはじめ山村振興事業としての投石事業、沿整事業としての大型、並型魚礁の設置、道単独補助事業としてのウニ、ホッキ移植、雑草駆除事業等を実施しており今後更に町当局をはじめ関係機関の御助力を仰ぎながら推進する所存であります。又、生産基盤整備事業の一環として地域沿構事業により漁船保全修理施設（リフト式上架施設）を設置し漁船修理の迅速化による生産活動の効率化を図って参りましたが、更に昭和六十年年度実施を目標に近代的荷捌施設（市場）の新設を取り進めて参ります。併せて、小規模漁場造成事業によるウニ礁の築設、人口礁の導入等に強力に推進する所存であります。これら施策と同時に、組合本来の事業である経済事業、信用事業等を強力に推進しながら、組合財務の是正と健全化に努め、漁家経済の防波堤の役割を果たすべく最大限の努力をして参りたいと思ひます。また、地域社会における漁協の役割を認識しつつ、地域発展のため組合員一丸となつて努力しなければならぬと思ひます。新年を迎えるにあたり所信の一端を申し上げ御挨拶といたします。



「はたち、のみなさん  
国民年金に  
加入しましょう」

### 地域商工業の発展を

鹿部商工会

会長 川 村 太 一

皆さん、明けましておめでとございます。

鹿部町として初めての新年を皆さんとともに迎えることができ、また心からお慶び申し上げます。

ふり返って見ますと、ここ数年来世界の経済は、かつてない深刻な長期不況に直面し、国内経済もまた内需の停滞と輸出の減少で、景気は低迷を続け、多くの産業生産や雇用に悪影響を及ぼすなど、まことに厳しいものがあります。

当町においても、昨年基幹産業の漁業や養殖は、当初期待した成果は上らず、これに伴う加工業も不振に終りました。

商工業は、前述の景況の中では購買力等需要の向上は望み得ず、加えて資金調達に苦慮するなど、その経営も容易ならざるものでありました。

しかし、こうした各業界の沈滞ムードの中で、昨年六月から加工関係者が郵便局とタイアップした鹿部の特産物をお届けする「ふる里小包」は、全国からの注文で好評を得ましたし、十一月に札幌丸井デパートで開催された一村一品運動を中心とした「北海道物産ま

つり」には、当町特産のミンクをはじめ、タラコ・ウニ・みりんなどから、かんかい等が出品販売され、郷土の逸品、郷土の味覚として連日好評を博し、鹿部町の名を大きく広めるなど、明日への希望をつなぐ朗報となりました。

これらは、今後関係者に深い自信をもたらす、本町の基幹産業である漁業の付価値を将来に亘って高めていくものと確信いたします。

さらに、昨年第一回「海と温泉のまつり」は、会場変更にもかかわらず町内外の多くの人々で賑わい、郷土の観光と産業振興の祭典として定着いたしましたことは、関係団体の一人としてご同慶に堪えません。

さて、昭和五十九年は、専門家の予測では前年より若干上向きが伝えられるものの、好転は大きく期待できない状況にあります。

もちろん、地域経済の活性化のためには、政府当局の早急かつ抜本的な景気対策や、各般の施策に期待するところ大であります。

私は最大限の自助努力をするためこの際、自治体も町民も一丸となって英智をあつめ、地場産業をはじめとする地域振興の見直しを積極的に進めるべきものと考えます。とくに、鹿部町は、天与の観光資源を有しておりますので、これらと各種特産物をドッキングした

観光産業の推進が急務であると思えます。

商工会においても、本年さらに会員百五十余名の結束を固め、今後の難局打開に力を注いで参る決意であります。

商工会法の第三条に「商工会はその地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、併せて社会的な福祉の増進に資することを目的とする」とありますが、商工会は、地域の総合的経済団体として、また指導団体として、常に公正な立場から地域商工業の発展を図ることに、努力を惜しみません。

今後みなさんの一層のご理解とご協力をお願いするものであります。新しい年の初めに当り、所信の一端を述べ、皆さんのご多幸とご健勝を祈念してごあいさつといたします。

### 新しい年を迎えて

鹿部町町内会連合会

会長 佐々木 克三郎

新年を迎えるたびに何か厳肅な気持ちになり、今年こそはと覚悟を新たにするものであります。

「一年の計は元日にあり」という言葉がありますが、過去をふりかえり新しい年に向けて努力するこ

とが大切であります。

さて、昨年は鹿部としては大きく変化をした年でありました。開基以来、鹿部村として永い歴史をもつ名称が五十八年十二月一日をもって鹿部町と改称したことであります。

このことは、単に呼称の変更というだけでなく鹿部に住む人たちは歴史の節目としてこの意義を今後の町づくりのスタートとして決意を新たにするとお思いいます。

今日の世相は、恵まれた物質の中にあつて心の豊かさに乏しい時であります。未来を築く青少年の健全育成は、緊急にして且つ重要な今日的課題であります。

私たちは、心の豊かな青少年を育てるためにあらゆる立場からの教育力を作用させなければなりません。

昨年は、町内会連合会として地域懇談会を開催いたしました。町内会運営に関することや青少年健全育成に関すること等多くの意見をいただき予想以上の成果をあげることができました。

本年も町づくり人づくりを旨とし自主活動を更に進めて参りたいと考えております。

これらの活動は地域住民の方の協力がなければ達成されないことであり、今後の共御協力をお願い

い事し上げてまして年頭に当たつての御挨拶いたします。

### 年の始めに

鹿部観光協会

会長 根 本 五郎男

あけましておめでとございます。鹿部町が誕生致しました。皆様と共に喜び申し上げます。

町民久しく待望しておりました町制施行です。今は厳しい時代であります。町民が一体となり心を合わせて豊かな、住みよい、鹿部町の隆盛を築き上げることを希望いたします。

鹿部は秀峰駒ヶ岳、内浦湾の眺望、遙るかに望む日高の連山等この景観は見事であり、

浜辺には豊富な温泉と共に、十五米以上にも吹き上げる間けつ温泉と、又莫大な漁獲量と海産物の生産など、この様な天然自然に恵まれた財産があり、本当に鹿部町は前途洋々たるものがあります。

これら天与の観光資源を生かした観光として最適地であり、広く脚光を浴すると共に益々の発展を期すことを願っています。



### 新年のごあいさつ

鹿部町森林組合

組合長 松川 義雄

明けましておめでとうございませう。

昭和五十九年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

我が国では、人口の高令化、生きがいとゆとりを求める意識の高まりなどがあり、このような中で、近年、緑豊かな森林の役割が見直されてきております。水資源のかん養、国土の保全、保健休養の場の提供など森林のもつ機能の高度発揮について今日ほど大きな関心が寄せられているときはありません。

しかしながら、森林、林業を取り巻く環境は、住宅建設の落込みを背景とする木材需要の伸び悩みと木材価格の低迷、林業経営費の増高等の要因が相まって林業生産活動が停滞し、極めて厳しいものがあります。特に最近、林業経営意欲の低下により、除伐、間伐等適正な管理が行われていない森林が増加する傾向にあり、このまま推移するならば、森林資源の充実、健全な林況の形成に大きな影響が生じ、森林の公益的機能が阻害されることが懸念されます。

このため、森林組合では、造林

事業をはじめとし、育林事業、沿山事業等に意欲的に取り組む、適正な森林管理の推進、水土保全機能の強化など緑資源の培養に努力を傾注しているところです。

本年も、鹿部町および北海道の関係機関の指導を仰ぎながら、豊かで活力ある森林の育成のため、決意を新たに組合業務に取り組む覚悟でございますので、皆様方の一層の御支援と御協力をお願いするとともに、御多幸を祈念し、新年のごあいさついたします。

### 年頭のおいさつ

鹿部町婦人団体連絡協議会

会長 境井 美津子

明けましておめでとうございませう。新たな希望に輝く昭和五十九年を迎えられる年頭にあたり謹んでお慶び申し上げます。

昭和五十八年十二月一日に待ちに待っていた町制が施行され、希望にあふれる新年を迎えることができました。大事な事を婦人団体を代表致しまして心からお慶び申し上げます。

振り返りますと昨年は何かとめまぐるしい年でしたが、又、その反面することには厳しい中にもやりがいがあった事を心感じております。

新しい年を迎えると共に、又、婦人団体にも明るい希望のきざしがみえて参りました。

お互いの連絡をはかり、行政からの信頼の協力、渡島リハビリへのボランティア参加等私達婦人団体にもたくさんの方々が参ります。また、今問題となっている青少年育成問題がありますが、中学生の非行が少しもなくなる様私達婦人の手、家庭の中でのお母さんの手で見守ってほしいと思っております。私達婦人団体も他の町にはずかしくない婦連協として肩を並べていきたいと思っております。

どうか本年もより一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。町の発展と皆様の御健勝をお祈りいたしまして年頭のおいさついたします。

昭和五十九年 元旦

### 年頭に当って

鹿部町青年団体協議会

会長 佐藤 鉄雄

町民のみなさん、明けましておめでとございます。

新しい年を迎え、改めて町制が施行された昭和五十八年が私にとって、一生忘れ難い事のできない年であったと再認識されます。

本年は、鹿部町にとっても、我

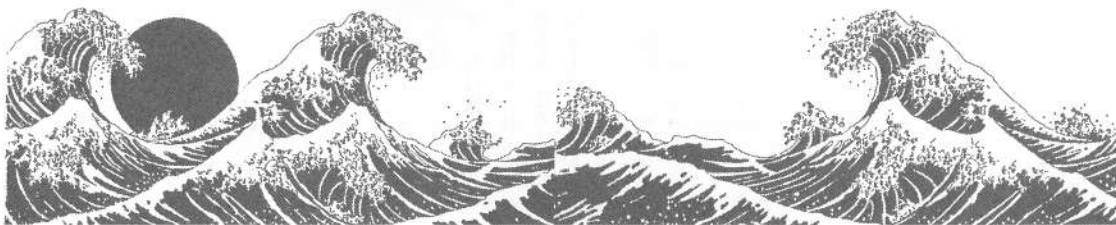
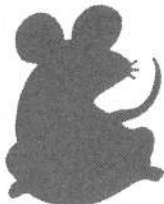
々鹿部町青年団体協議会にとっても新たな第一歩の年だと思えます。昭和二十七年、当時はまだいなかの村の青年有志が集まり、将来の町制を夢見て、「人づくり、村づくり」を目標に結成された当会

も既に三十余年が過ぎ、結成当時の役員、団員の先輩方は、今では町の要職を担う方々ばかりであります。我々も諸先輩に負けないよう、今後の町づくりのため今後より一層青年団活動を展開して参る所存であります。

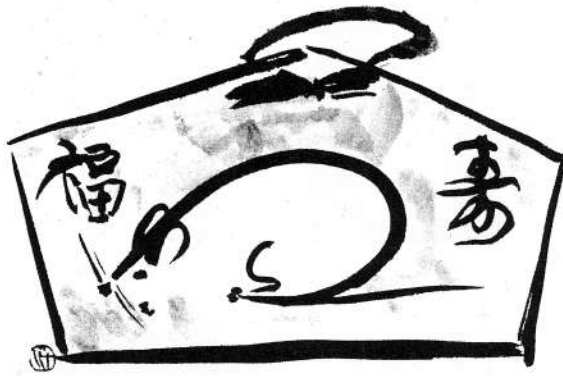
しかし、現在は、各地域の青年団の団員の高令化や、若年層の未加入等の理由により大きな転機を迎えております。我々は、この新局面を団員のみなさんとよく話し合い、また、行政の所管である教育委員会社会教育課と連携を密にして乗り切って、新しい時代に適合した鹿青協をつくり上げて参りたいと思えます。

新生「鹿部町」の将来の担い手としての自覚をもち、今年一年を組織再建のため精力的に活動したいと思っております。

一九八四年 元旦







あけまして

おめでとらうございます

昭和五十九年 元旦

今年は十二支の「一番手」ネズミの年です。十二支にはトラとかタツとか立派な動物も多いのに、なぜネズミがトップ・バッターなのか。これは昔、中国で時刻や方角を表すのに用いた子(し)、丑(ちゆう)、寅(いん)……の十二の方位に、それぞれ動物を当てはめたことによるものです。ネズミは、齧歯目ネズミ科に属する哺乳類。上下のあごにそれぞれ一对の大きな門歯のあるのが特徴で、これは終生伸び続けます。子供の乳歯が抜けると、ネズミの歯になーれ」と高く放り上げたりするのは、リス、ヤマアラシもそうですが、齧歯目動物の門歯が丈

家族みんなで話し合いませんか

ことし一年の交通安全

全国に四千二百八十万台——と言っても電話やテレビの話ではありません。これは、昭和五十七年末現在のわが国の自動車保有台数です。この数字からも分かる通り、車はわたしたちの足として欠くことのできないもの

ですが、その一方では交通事故による悲劇が依然として後を断ちません。いたましい交通事故をなくす——そのために、信号機を増やしたり道路の幅を広くするといった環境の整備が行われています。しかし、それに

も増して大切なのは、「事故に遭わない、起こさない」といった自覚を、わたしたち一人一人が持つことではないでしょうか。一年の計は元旦にあり、といわれます。みなさんの家庭で、ドライバー、歩行者、自転車の利用者など、それぞれの立場にある家族が交通安全について話し合い、注意し合せて、この一年を事故のない幸せな年にしてください。

夫なのにあやかろうというものです。

南極など一部の地域を除き、地球上に広く分布、生息するネズミは、その種類約千八百にも及ぶといわれています。

繁殖力が強いのは、ネズミ算という言葉があること

からも分かります。例えば、種類によっては一度に二十匹近くも産むことがあり、その子どもも五十日前後で成育して、また子どもを産む——。ネズミの数は、都市ではほぼ人口と同数、田舎ではその二、三倍といわれています。

今年ネズミ年

数が多く、農作物や食料品を食い荒らすことから、ネズミの「評判」はよくありませんが、半面、縁起がよいとして尊ばれている例も少なくありません。特に白ネズミは、昔、大黒様の使者といわれ、吉兆とされてきました。一方、古

事記」には、ネズミが火の中からオオクニヌシノミコトを助け出す話が出ています。また「年寄りネズミのおらぬ家に、ろくなことはない」という地方もあります。これは、「ネズミがいなくなる」と火事になる」とか、

ネズミは「火事の三日前に逃げ出す」「三年いないと火事になる」などという言い伝えと関係がありそうです。「評判」の良い悪いにかかわらず、昔から、人間にとってネズミは身近な存在であったことが分かります。ところで、ネズミ色という言葉、最近ではあまり使われなくなりました。グレイが一般的です。

ちなみに、流行色についての調査・研究を行っている(株)日本流行色協会によると、今年の色調つまり「傾向色」はライト・グレイッシュ・カラー。明るい灰味をもった色ということですが、ネズミ年が明るい良い年でありますように。

# ことしの抱負

ことしは子(ネズミ)年。十二支の一番手、の年です。そこで子年生まれて、村内に住んでいる方々の中から、無作為に抽出して今年の抱負等をひと言つつ伺ってみました。  
みなさんは、それぞれ新鮮な気持ちで新しい年を迎えられたことと思いますが、あなたにとって今年の決意のほどは……。

## りっぱな六年生に



五年一組 酒井久美子  
私は、鹿部町になってからは、なんとなく気持ちが村の時よりは変化したような、気がします。

去年は、自分の気持ちにゆるみがあって十分でなかったことを反省して、今年こそは、勉強にはげんでりっぱな六年生をすごしたいと思います。

六年生は、いちばん大切な時！小学校を卒業する時、おちこぼれでは卒業はしたくない。そう思うと、やっぱり勉強にはげみ努力してりっぱに、鹿部小学校を卒業したいと思います。

六年生になると、小学校が、新築されるのはうれしいことです。

が、新しい小学校にどのぐらい入れるのか気になります。少しでも入れて、新しい校舎で、いろいろな活動してみたいと思います。

それから、鹿部の町民の一人として、願うことは、鹿部町は、人口が、ふえているのでよいかんきょうをつくり鹿部町のよさをもっと多くの人に知ってほしいことです。漁業の町としてだけでなく、たくさんの方が鹿部に来て、楽しんでいけるような、観光の町としても発展してほしいと思います。

## 将来は看護婦さんに



五年二組 和野 白美

私は、大人になったら、かんとふさんに、なりたいたいと思います。

## 公共物を大切に使用したい



五年三組 松本 真澄

今年、私のうまれたねずみ年です。

日本全体に、変なことが起こらなければいいと思います。今年、いい天気めぐまれて、米が、たくさんとれればいいと思います。米は、むかしから、日本人の主食で、みんなの健康を守ってきた食べ物です。

昨年は、冷害で、稲をまだかかっていないのに、雪が降ってしまいあまりとれなかったです。

また、牛乳やいろんな物が、豊富で安く手に入ればいいと思います。給食を安心して食べられるからです。私たちが小学校にいられるのはあと一年間だけです。

この一年間にしたい事は、六年生なので、下級生のめんどうをみたり、学校の物や自分のもち物を大切にしたいということです。

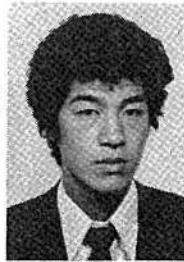
みんなのものは、みんなで大切に、自分のものは、最後まで責任をもって使っていくつもりです。12月1日、鹿部は、村から町になりました。

鹿部の町の人全部で協力しあって明るく安心してくらせる町をつくりたいと思います。

思います。

私のけつてんは、算数です。それに、私は、はずかしがって、手を上げていません。「まちがってたらどうしよう。」などと、思ってしまうからです。もっとしっかりした子にならないと、かんとふさんになれません。だから、今年、それをなおし、べんきょうをがんばりたい。かんとふさんは、いろいろな会に、でないと、いけないので、今の、うちから、はずかしがらないようにがんばっていききたいと思います。

## 仕事・野球に頑張る



公社職員 西村 勉

今年、二回目の「千年」生まれの満二十四才を迎える年男です。鹿部で生まれ育った私も高校卒業後、愛知県に一年間いて、鹿部にもどってきました。その後は地元で就職して、早、四年がすぎました。

今年、仕事と趣味をうまく両立させたいと思っています。学生時代に野球をしていましたので、今でも忘れられず、仕事仲間と野球をやっていますが、仲々練習が出来ます。昨年は○勝○敗でしたので、今年、昨年以上に勝星を上げたいと思っています。

又、昨年は自分の災難の多い年で、出張するたびに地震、山火事などの災難にあっているのです。今年こそは災難にあわないようにと思っていましたら、今年、私は厄年にあたっていました。だから私は厄年をふきとばすぐらいの気持ちで仕事も又、野球もがんばっていききたいと思っています。

# 年男・年女の今年の抱負

未来に生きるたくましい子供を



幼稚園教師 吉田 京子

保育者として鹿部の子どもの中に立って二年目になります。子どもは、自己主張をし、はっきりと意志や感情を表わす主体性のある存在です。自分の感情をかくすことを知らないのが正直に生きています。自分のホンネにおいて気持ちにそぐわない場合には、あからさまにつまらなさそうな表情を示し、

昨年以上の水揚げを



漁 業 桜田 博孝

今年、私の迎える三回目、ネズミ年。三十六才になる年です。私の家では、父、母、妻そして私の四人で協力し合い、タコ箱漁、ホタテ養殖を主とした漁業をして

年男・年女の今年の抱負

また、反対に自分の興味関心にあることであれば集中し、没頭し、まわりのことを無視さえします。子どもが自分から動き始め、そこで発見した物事に集中して取り組む中で、身体的、知的、情緒的、さらには社会的な面でのさまざまな力を働かせ、次第に個性を確立し、仲間を見つけ仲間と共に生活を作り上げていくことに対する協力や援助ができる保育者を目指している自分です。

一九八三年、十二月一日から鹿部村から鹿部町に変わり、一九八四年も鹿部町にとって良い方向へもっていかける、未来に生きるたくましい子どもを育てるための協力や援助を、惜しみなく行ないたいと思っております。

いですが、昨今の漁業をめぐる諸情勢は、非常に厳しいものがあり、特に、魚価の低迷、燃油、資材等の高騰、ホタテの毒性問題等漁業経営は、年々深刻になってきております。昨年のタコ箱漁は、「土用タコ」の来遊が予想外に良く、また新しい漁場の開拓で豊漁でしたので、今年も「タコ」の漁場はその年によって異なる」と聞いていますので新漁場を探索してより成果を上げたいと思います。また、ホタテ養殖は、昨年は貝の成育が思う様にまかせず、更に貝毒により出荷停

人生最高の年に



漁 業 西村 宏一

五十九年はねずみ年私の年です。私は昭和十一年生まれの満四十八才ですが、父が漁業者であったのと長男ということで父の跡を継いで中学校卒業と同時にいかに、昆布、助宗漁に従事して来まして、最近では、漁業経営もむすかしく、先行きに不安があり、昔はいか、

止の解除が長びき、出荷が思う様に出来ませんでした。ホタテ養殖は、やはり早目に稚貝を分散し、手数をかけて丈夫な良い稚貝をとらなければなりません。現在は、稚貝の成長や状態が良いので、「今年こそは」と私のエトである子年に期待し、タコ箱漁、ホタテ養殖とも家族揃って一生懸命頑張って「昨年以上に水揚げを伸ばしてよい年にしたい」と思っています。

止の解除が長びき、出荷が思う様に出来ませんでした。ホタテ養殖は、やはり早目に稚貝を分散し、手数をかけて丈夫な良い稚貝をとらなければなりません。現在は、稚貝の成長や状態が良いので、「今年こそは」と私のエトである子年に期待し、タコ箱漁、ホタテ養殖とも家族揃って一生懸命頑張って「昨年以上に水揚げを伸ばしてよい年にしたい」と思っています。

頑張っている年に

ら不安です。何にして私が迎える四回目のネズミ年は今年こそ一生懸命頑張って人生最高の年にしたいと思っております。



ンブとりと、タコとりしかしていませんので、何といっても、天然コンブにかかっています。天然コンブは、年々減少の一途をたどっていますので、雑草駆除や投石等をしてもらいたいと思います。しかし、こういう厳しい中にあるので、今年は孫が幼稚園に入園することが楽しみなことで、運動会やおゆうぎ会等が今からまちどうしのような気持ちです。

ともかく、今年私のエト、ネズミ年であると同時に、鹿部が町になってはじめて迎える新年ですので例年以上に頑張っている年にしたいと思っております。

頑張っている年に



漁 業 米谷米四郎

今年、私の迎える五回目の「子年」満六十才になる年です。私たちをとりまく情勢は年々厳しさを増し、特に漁業環境はきびしいものがあります。私は、漁業といっても、天然コ

# かわやか君

西村 宗

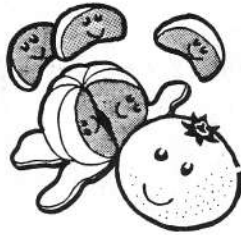


親しい友人や恩師への年賀はがき……年に一度の便りのせいか緊張して書き損じたりします。そんなとき破って捨てないで下さい。郵便局では、書き損じたり、汚したり、誤って印刷したりした官製はがきなどを次の要領で新しいものと交換しています。ただし、郵便切手にあたる料額印面（はがきの左上にある印刷面）を汚したり、傷つけたりしたものは交換できません。

## 書き損じた年賀はがき

新しいものと交換できます

通常はがき	1枚につき	5円
往復はがき	1枚につき	10円
郵便書簡(ミニレター)	1枚につき	10円
切手	1枚につき	5円 (10円未満のものはその半額)
印紙	1枚につき	5円



## サラリーマンの確定申告

所得税の確定申告—二月十六日—三月十五日

昭和五十八年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。

サラリーマンでも確定申告をしなければならぬ場合がありますし、また、確定申告をしないでよい人でも、確定申告をすると源泉徴収された所得税の一部が戻ってくる場合があります。

### 確定申告をしなければならぬ人

- ① 給与の年収が一千万円を超える人
  - ② 給与所得や退職所得以外の所得金額の合計が、二十万円を超える人
  - ③ 給与の支払いを二か所以上から受けている人など
- 確定申告をすれば税金が戻る人

- ① 災害、盗難、横領などで、住宅や家財に損害を受け、その損害額（保険などで補てんされた金額を除く）が所得金額の一〇％を超える人など
- ② 病気やけがなどで、多額の医療費（保険などで補てんされた金額を除く）を支払った人、ただし、美容整形や健康診断の費用、健康増進のためのビタミン剤などは医療費に含まれません。
- ③ 住宅を新築したり、購入した人で、民間の金融機関等から住宅ローンの融資を受けている人など

所得税の確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までですが、還付を受けるための申告は、二月十六日前でも受け付けています。正しい申告を期限内に済ませるようしましょう。

なお、分からない点がありましたら、お気軽に税務相談室にお尋ねください。



### 1月の救急病院

- 1月15日……遠藤医院（七飯町）☎0138(67)2070
- 1月16日……尚仁堂診療所（大野町）☎0138(77)8105
- 1月22日……佐々木外科医院（七飯町）☎0138(65)3520
- 1月29日……沢田医院（鹿部町）☎(7)2105

—診療時間は午前9時～午後4時—